平成 22 年度　事務事業事後評価調書（平成　21　年度事業）

整理番号	10	―	39

1　事務事業の表示

※ ■ ：　該当

事務事業名	社会体育団体活動費助成事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課　長	作成者	職名	主　査
		氏名	髙橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	本町の生涯スポーツ活動の中核的な役割を果たしている体育連盟･スポーツ少年団の育成やスポーツを通して地域の活性化や将来の指導者を養成するため、団体の活動に対し、助成するものである。					

全体計画	/単年度繰返
（平成 20 年度～ 24 年度）	
事業費 国･道支出金	千円
事業費 地方債	千円
事業費 その他	千円
事業費 一般財源	2,700 千円
事業費 事業費計	2,700 千円

実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他（　）
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度 B

事業の位置付け			
政策目標	3	のびやか･雄武～教育･文化の振興～	
基本施策	13	生涯学習･生涯スポーツの推進	
単位施策	1	推進体制の強化	
事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務	
その他計画･根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
国･道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円
合計	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円

2　事務事業の目的･内容（Plan･Do）

【誰、何が（対象）】	町民（スポーツ団体）	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	過疎化や少子化等による加盟単位協会や会員の減少。	現団体の加盟協会の維持		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	町民一人でも多くの単位協会への加盟とスポーツ活動の積極的な参加を目指す。	① 体育連盟１６協会	目標年度	平成21年度
			目標値	16 団体
			実績値	16 団体
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	生涯スポーツの普及推進、指導者の養成や地域の活性化を図る。	② スポーツ少年団４協会	目標年度	平成21年度
			目標値	4 団体
			実績値	4 団体
			達成度	100 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
体育連盟、スポーツ少年団への補助	予算･決算･実施事業等の実施報告を求め、内容を精査し補助する。 体育連盟400千円　スポーツ少年団140千円

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通して町民の交流を深めるとともに、将来の指導者を養成することも目的としている。また、町の活性化にも繋がるため、これら団体を育成・支援することが必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	各団体の単位協会加入者は、年々減少傾向にあるが、現在体育連盟は16協会700名、スポーツ少年団は100名（指導者含む）にて活動しており、町内外の各種大会へも積極的に取り組んでいる。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	平成18年度より約1/3を減額しており、これ以上の削減は、生涯スポーツの推進に支障が出る恐れがある。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	実績報告書等を勘案して補助交付している。各種団体の事業については、広く町民に窓口を広げ、参加促進を進めている。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
本町のスポーツ活動の中心的役割を果たしている団体への補助は、生涯スポーツを推進するうえで重要である。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに、人と人、地域と地域の交流や親睦を深める最高の手段である。また、子ども達にとっても協調性や競争意識などを養える学習の場でもあり、今後もこれらの助成は継続すべきである。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）